科目名称	母性看護学方法論Ⅰ（マタニティライフの看護）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	15
担当教員	矢野　良子	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 助産師 ） □ 無	

【1】 授業概要

妊娠期にある母性の特徴と胎児の発育について理解し、その看護ができる基礎的知識・技術を習得する。

【2】 学習目標

1．妊娠期にある母性の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。
2．妊娠期にある母性に対して、正常に経過するための看護について説明できる。
3．ハイリスク因子を持つ母性に対する看護実践に必要な基礎的知識について説明できる。
4．妊娠期に必要な基礎的看護技術を学ぶ。
5．妊娠期の看護過程を展開し、対象に必要な看護を計画できる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
■ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
■ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
■ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
■ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
■ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	妊娠の生理	講義
2	妊娠期の母体の変化と心理的特徴	講義
3	妊婦の健康診査	講義・演習
4	妊婦の健康診査	講義
5	妊婦の看護 ハイリスク妊娠の看護	講義・演習
6	ハイリスク妊娠の看護	講義
7	妊娠期の看護過程の展開 不妊症 出生前診断	演習
8	筆記試験	

【5】 授業評価

科目評価は、筆記試験（80%）、レポート課題（20%）で総合的に評価する。

【6】 教科書

森恵美：系統看護学講座　専門分野　母性看護学(2)　母性看護学各論（第 15 版）　医学書院　2026（電子版）

【7】 参考書

ナーシング・グラフィカ 31.母性看護技術，MC メディカ出版
太田　操編著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程，医歯薬出版株式会社
平澤美恵子他　監修：写真でわかる母性看護技術，インターメディカ

【8】 受講生へのメッセージ